

○ 水泳指導無事に終了！



1月29日(木)、延期となった水泳指導の保護者参観が無事にできてホッとしております。子どもたちの泳力は確実に伸びており、その雄姿をご覧いただけたことと思います。天候にも恵まれ、気持ちよく水泳指導を終えることができました。

○ サンバを踊ると気持ちがイイ！



2月3日(火)、今年もサンバダンサー・工藤めぐみさんがリオ日学に来て、サンバ教室を開催してくださいました。

めぐみさんは、私たちが6月に佳子様の前で披露したサンバの振付をしてくださいました。その時の演舞をめぐみさんにサプライズで披露すると、「泣きそう！」と言いながら感動してご覧になり、そのあと、熱い思いのこもったサンバの指導をしていただき、最後は、所属するチーム SALGUEIRO の今年の曲に合わせて全員で輪になって踊ることができました。

「みんなのサンバが素晴らしかったからレベルを上げて教えた！」。腰の使い方、指先の表現など、まだまだ奥が深い。リオならではの醍醐味を味わうことができました。

2月14日(土)から始まるカーニバルがより一層楽しみになりました。

○ 感謝の集い、いつもありがとう！



2月3日(火)、感謝の集いを実施しました。日頃から、子どもたちのために尽くして下さる現地スタッフの皆さんに、小学生が図工の時間で作った、感謝の気持ちがたくさんこもった記念品をプレゼントしました。似顔絵の描かれた作品など、スタッフの皆さんから笑みがこぼれ、とてもうれしそでした。

これからも、どうぞよろしくお願ひします。

○ 百人一首が熱い！



2月5日(木)、クラブ活動で百人一首をやりました。この季節は、日本のどこの学校でも百人一首は盛んに行われます。上の句で取れることを目指して、各教室で練習した成果が試され、今月行われる百人一首大会に向けて、気持ちが高まる時間となりました。各教室での練習がますます熱くなりそうです。

<フルーツ天国 リオ！>



日系協会管理人のベラさんが裏山からジャッカ(ジャックフルーツ)をもちできて、ジョアンさんがみんなのために食べやすく切ってくれたものを昼食でいただきました。フェイラで見かけると、決して安くはなく、今まで食べる機会がなかったので、ありがたくちょうだいしました。南国のフルーツ特有の香りで好みの

分かれるところですが、私は美味しくいただきました。昼食会では、何度もお代わりする子と、大多数の子は、ちょっと・・・と手が伸びません。これまで、ジャブチカバ・バナナマッサン(リンゴ風味のバナナ)・マンゴ・レモンなど、学校に自生するフルーツをいただきました。ブラジル人にとってフルーツは生活の傍らにある当たり前のものでしょうが、私たちにとって、とても貴重な経験であり、美味しくいただけることに感謝です。